卓話

ロータリー財団常任理事
河内　正晴　会員

ロータリー活動の中でロータリー財団への理解を更に深めていただく為、今年度３回目の卓話となりました。

会員の皆様のご理解・ご協力のおかげで恒久基金の寄付、年次寄付更にR1寄付金全体も順調に進んでおります。

ただＲ１全体として、会員の減少、リーマンショックから運用資金の減少等、厳しい現状があり、更にご協力をお願いする次第です。

2015年にはロータリー財団創立100周年を迎えます。2億ドルチャレンジ、米来計画に向けて、会員の皆様のご協力が再に必要になってきます。

財団活動の目玉であるポリオプラスの最新の動向について、　別紙に説明しますが、あと一歩となっています。ロータリーアンの奉仕の理想に基づいて頑張っていきたいと考えます。

奉仕プロジェクト委員会
国際奉仕担当
梶田　　滋　会員

「職業奉仕で感じた事」

1905年2月23日は、ポール・ハリス、がスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーの4人がシカゴで始めて会合を開いた日でロータリーが創立された2月は「世界理解月間」と指定されています。この月間中、各ロータリー・クラブは世界平和のための理解と善意を強調するクラブ・プログラムを行うよう要請されています。

国際ロータリーでは、国際的な政治問題に対する団体声明を出すことは禁じられていますが、平和と正義の原則に基づき国際的難問を平和交渉によって解決するために、自己の影響力を行使することはすすめられています。

国際ロータリーでは、2002年に始まる国際問題の研究を目的としたロータリーセンターを世界の7ヶ所に開設し、著名な大学と協力関係を結ぶことによって、平和・紛争をはじめ世界理解の分野における最先端の研究を行ない、これに多くの団体をリンクさせて紛争を解決するよう努め、平和に満ちた環境をもたらすことを目指すという大きな目標を掲げています。

ロータリーセンターが開設されている大学は、次のとおりです。

- チュラロンコーン大学（タイ、バンコク）
- デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校（米国）
- 国際基督教大学（日本、東京）
- サルバドール大学（アルゼンチン）
- ブラッドフォード大学（英国）
- カリフォルニア大学バークレー校（米国、カリフォルニア州）
- クイーンズランド大学（オーストラリア）

このロータリーセンターで研究に従事する「ロータリー世界平和奨学生」は、普通の国際親善奨学生と異なり、紛争解決の要点や、平和研究を含んだ修士課程の2学業年度、研究に従事することになります。

ポール・ハリスは「ロータリーは平和な世界のミニチュアである」といっていますが、ロータリアンは勿論のこと、ロータリアン以外の人々もロータリーについてよく知っていただくことが世界の平和につながり、平和のメーカーになり得ると思う次第であります。

2009年～2010年度
NO. 324

本年度会長方針
「参加する悦びを！
行動する悦びを！」

広島廿日市ロータリークラブ会報

例会日／毎週月曜日　12:30～13:30
例会場／広島サンプラザ TEL(082)278-5000
会長／渡邊　英晶　　幹事／髙尾　昌二

事務所／〒738-0015 廿日市市本町5番1号　廿日市市商工保健会館4F
TEL(0829)31-5490　FAX(0829)31-5491 E-Mail / office20@h-hrc.com
URL http://www.h-hrc.com/

第 637 回　2010 年 1 月 25 日
於：広島サンプラザ

会長時間

ロータリー財団特別寄付及び米山特別寄付にご協力いただきました会員に表彰状、バッチが贈られました

渡邊会長から河内さんへ

河内正晴　会員

有田（伸）直前会長から渡邊会長へ

渡邊英晶　会員

奉仕プロジェクト委員長
太田　泰宏　会員

「職業奉仕で感じた事」

経済的事情、道徳倫理の欠如等々で暗く活気のない社会になっております。

終焉かとさえ印象を受けます。今こそロータリーの原点に帰えってはと思い、職業奉仕の理念で感銘を受けたところを紹介させていただきます。

1910年シカゴでの最初のロータリー大会でアーサー・シェルドンがこう言っております。

事業とは、人間奉仕の科学である。また、仲間に最もよく奉仕する者が最も多くの報いをうける。

ロータリーアンは言葉から実行へ移す勇気と決意が必要で、行動を伴わない知識には何の価値もない。い。

ロータリーという団体は職業を基盤とした倫理と人道的な奉仕とを車の両輪として同等に重要視する団体である。

職業奉仕のバイブルと言うべき四つのテストを常に意識して実行に努めれば、自ずと利益がついてきます。(あるロータリークラブの本田弁護士さんの四つのテスト実践において、参考2006年ロータリーの友、特集職業奉仕を考える)

某医師の職業奉仕理念

外科医が私に質問されたことがあります。例えば地位のある患者(総理大臣)、大富豪の患者、貧しい患者(乞食)が　同時に診察に来たとする、君は誰から先に診るかとの問いに、医者は緊急性のある患から優先して診察しなければ　ならないのだよと教えられました。

一言

職業奉仕の理念が希薄になりつつある昨今、職業奉仕の灯は消してはなりません。強く感じる次第です。

幹事報告

①15周年記念事業の部長会議を例会終了後行います。各部の部長さんは「末広の間」にご参集下さい。
②インターシティ・ミーティングにおいて、テーブル毎で家庭と職場でのエコ活動の発表が有ります。事前に準備をお願いします。

スマイルボックス

★近藤　英昭さん
★河内　正晴さん
★下向　繁美さん
★渡邊　英晶さん
★髙尾　昌二さん
★永井　勝康さん
★山根　達則さん
★川﨑　　勉さん
★本﨑　一宏さん
★有田　伸治さん

卓話

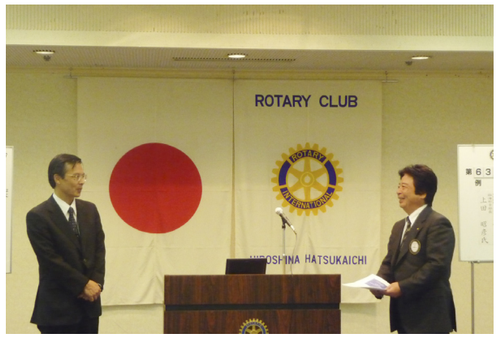
海からの視点を取り入れたコンサルティング
～海事コンサルタントについて～

中電技術コンサルタント(株)
臨海都市部長
上　田　昭　彦　様

港湾や漁港の岸壁・桟橋、マリーナなどの港湾施設に係る事業においては、過去には、土地利用等の施設利用面(陸からの視点)からこれを計画・設計し、後追い的に海域利用の安全確保について検討する状況にあった。

しかし、近年、海域利用の競合・過密化、船舶交通の多様化・輻輳化等の問題が顕在化しており、現在では、計画段階から操船等の海域利用者の視点(海からの視点)を踏まえ、海上における事故防止や海域環境の保全に向けた取組み、すなわち、海事コンサルティングが重要な役割を果たしている。特に、瀬戸内海地域における海事コンサルティングの進展には、広島の地で本格的な検討体制を整備した社団法人瀬戸内海海上安全協会(広島廿日市ロータリークラブ会員)の存在が大きく、弊社は当該協会に協力し、海上交通の安全確保に注力しているところである。

多様な海域利用が進む瀬戸内海において、安全で安心して利用できる港湾整備事業を推進するためには、従前にも増して海事コンサルタントに求められる役割は大きくなるものと考えられ、海からの視点にも十分に配慮しつつ、公平・中立な立場でその利用調整を図っていく必要がある。



第 638 回　2010 年 2 月 1 日
於：広島サンプラザ

会長時間

会長挨拶

会長　渡邊　英晶

みなさんこんにちは。今月はロータリー理解推進月間です。

ロータリー財団常任理事河内正晴会員とｲﾝﾀｰｱｸﾄ・新世界奉仕委員長梶田滋会員に卓話をお願いします。さて昨日の夜のＮＨＫの番組をみられたでしょうか？誰にも知られずに死に、遺体の引き取り手もないいわゆる「無縁死」が増えているようです。「身元不明の自殺と見られる死者」や「行き倒れ死」といった国の統計では出てこない「新たな死」が急増し、NHKの調べによると年間3万2000人にのぼり、このうち1000人が身元不明のままだそうです。身元不明の死者は「行旅死亡人」として処理され、遺族を捜すために性別、身長や外見の特徴、所持品、発見された日時と場所、死因を国が発行する「官報」に掲載し、遺体は火葬されて一定期間、行政が遺骨を保管するが、引き取り手が現れない場合には無縁墓地に埋葬されるようです。

番組では「行旅死亡人」として09年3月の官報に載っていた60?80歳代とみられる男性の人生の軌跡をたどります。男性は東京都内のアパートの部屋でテレビを観ていた時に亡くなったようで、コタツに入り、座ったままの姿勢でした。発見された時には死後1週間以上が経過していて、アパートの大家によると腐敗臭がひどく、テレビと電気は付けっぱなしだった。番組で調査した結果、男性は給食センターで正社員として定年まで働き、20年間、無遅刻無欠勤。退職後は同僚との人付き合いも希薄になっていたそうです。取材クルーは履歴書に書いてあった出身地の秋田に行きますが、男性の両親は既に亡くなり、家は都市開発で残っていない。親族の墓地が見つかったが、遺骨は無縁墓地に埋葬された後でした。ある違う例ではたった一人の身寄りである兄が他県に一人で住んで死亡した弟の遺骨の受け取りを拒み無縁墓地に埋葬されるというものでした。画面を見ていてここまで人同士の関係が希薄になっている事に驚きました。血縁、地縁、社会縁が失われていく。

私が、先日広島県の高齢者対策会議に出席した折も、徘徊、痴ほう症、老老介護（老人が老人を介護する）、独居老人の増加、孤独死等は大きな問題として取り上げられてました。２０年後３人に１人は６５歳以上という広島県の高齢者社会では、我々も人ごとでは済まされません。核家族の増加とともに、明日は我が身ということになりかねません。ますます地域にめざしたケア、生きがいのある生活の構築が急がれます。廿日市市では医師会を中心とし地域ケア検討委員会が発足しております。薬剤師として参加させていただいておりますが、まずは人として何が求められているかを改めて考えさせられました。

2009学年度米山奨学生　崔　明福さん

幹事報告

①理事会について
本日、例会終了後13：40～　定例理事役員会を開催します。
②2/13　インターシティ・ミーティングについて
2/13（土）インターシティ・ミーティングの出欠表をボックスへ配布しております。ご出欠に変更がある方は、事務局までご連絡ください。
③国際大会について
2010年カナダ・モントリオール国際大会のご案内が来ています。詳細ご希望の方は、事務局までお申し出下さい。

スマイルボックス

★例会出席会員より
★上杉　昌幸さん
★梶田　　滋さん
★植田　敏揮さん
★松野　正信さん
★川﨑　　勉さん
★吉野　篤敬さん
★大藤　良治さん
★下向　繁美さん
★川﨑　　尚さん